

平成 22 年 9 月 14 日

報道関係各位

東京都世田谷区太子堂 2-7-2

株式会社 QLife (キューライフ)

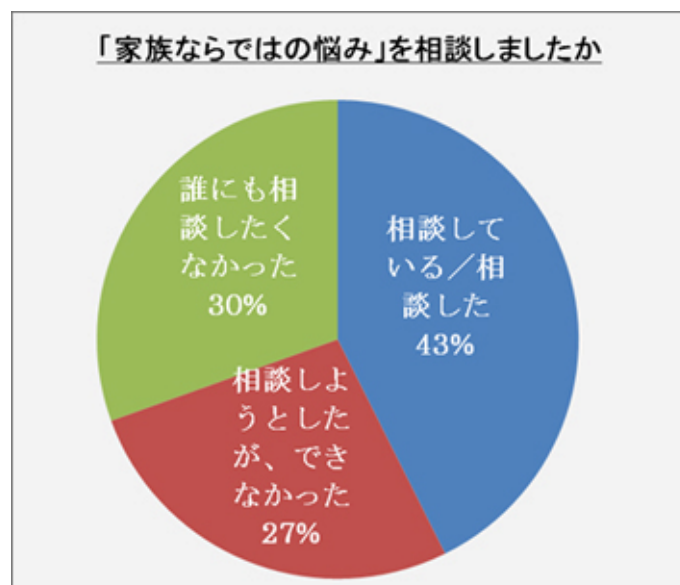
がん患者の家族の 8 割は、「患者の悩みとは別の、家族ならではの悩み」もつ
～「がん患者の悩み」実態調査の第二弾報告書より～

日本最大級の病院検索サイト、医薬品検索サイト、医療情報サイトを運営する総合医療メディア会社の株式会社QLife(キューライフ/本社:東京都世田谷区、代表取締役:山内善行)は、『がんの悩み「患者本人/患者家族/近親経験者/未経験者」比較調査』の結果の第二弾【“患者家族編”】を発表した。インターネット上でアンケートを行い、全国から8,218人から有効回答を得たうち、家族(定義は、同居家族、もしくは非同居の配偶者・親・兄弟姉妹)は3,120人が該当した。

調査は主に、「家族は、患者本人の悩みをどの程度把握しているか」「患者の悩みとは別に、家族ならではの悩みはあるか」の2テーマで行われた。

その結果によると、「告知直後」でも「現在」でも、患者の悩む状態を家族はおおむね把握しているが、「不安など心の問題」をやや過大視し、「就労・経済的負担」の悩みを過小に見ていることがわかった。なお、女性患者の1割が「医療者との関係＝最大の悩み」とすることは、ほとんど認識されていない模様。

「患者の悩みとは別の、患者家族ならではの悩み」を8割が抱えている。「事実を隠して接する苦痛」「告知の是非」などが多いが、「罪悪感との葛藤」や「家族間の摩擦」なども少なくない。家族ならではの悩みを、誰かに打ち明ける人は4割にとどまる。「相談したくてもできない」のではなく「相談したくない」という人が多い。



調査結果の概要

1. 「告知直後」でも「現在」でも、患者本人が悩む状態を、家族はおおむね把握している。ただし、「不安など心の問題」をやや過大視し、「就労・経済的負担」の悩みを過小に見る傾向がある。
2. 患者の相談相手や相談の効果を、家族はおおむね把握している。相談の程度については、「多少は悩みを相談してくれたが、本当は他にも悩みがあるのでは」とあまり自信を持っていない。
3. 女性患者の1割が「医療者との関係」が「最大の悩み」化している(別報告書)ことは、同じ女性も含め、家族からはほとんど認識されていない。
4. 治療内容別に「手術<薬物療法<放射線」の順で悩む患者が少ないことは、家族も同じ認識であった。
5. 患者の悩みとは別に「家族ならではの悩み」を8割が抱えている。「事実を隠して接する苦痛」「告知是非」「治療方針や医療機関選択の迷い」などが多いが、「早く死んでと願うことへの罪悪感」や「家庭事情による族間摩擦」など、いかにも人に言えぬ悩みも少なくない。
6. 「家族ならではの悩み」を、誰かに打ち明ける人は4割にとどまる。「相談したくてもできない」のではなく「相談したくない」という人が多い。相談相手は、「別の家族」と「友人・知人」が多い。

詳細は・・・

▼以下の記事をご参照いただくか、

http://www.qlife.jp/square/cancer/cancer_01/story15097.html

▼以下の詳細レポートをダウンロードしてください。

http://www.qlife.co.jp/news/100914qlife_research.pdf

<株式会社 QLife の会社概要>

会社名 :株式会社 QLife(キューライフ)

所在地 :〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 2-7-2 リングリングビル A 棟 6F

代表者 :代表取締役 山内善行

設立日 :2006年(平成18年)11月17日

事業内容:健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念:生活者と医療機関の距離を縮める

サイト理念:感動をシェアしよう!



URL : <http://www.qlife.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先:

株式会社 QLife 広報担当

TEL : 03-5433-3161 / E-mail : info@qlife.co.jp
